

公開オンラインシンポジウム

戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期フィジカル空間デジタルデータ処理基盤
「CPS構築のためのセンサリッチ柔軟エンドエフェクタシステムの開発と実用化」

これからの食産業と食文化に 科学と技術は貢献できるか？

新型コロナウイルス禍により我々の生活基盤は大きく影響を受けていますが、同時に現代社会の多くの課題を浮き彫りにしています。食環境もその一つです。食は単なる栄養補給ではなく、文化であり、人生を豊かにするものです。以前から、日本の食料生産、食品製造の現場では労働人口減少の解決策が喫緊の課題となっています。さらに、今次の新型コロナウイルスの問題から、食の生産と管理に感染対策が重要課題として加えられました。労働力が不足する状況で、今後の学校、会社、病院などでの集団による食事の製造と提供の方法は、どのようにすべきか？外食/中食産業は、どのような形態となるべきか？食文化は、どのように維持し、発展させるべきか？などの多くの問うべき課題があります。

本シンポジウムでは、今後の食産業のあるべき姿を広い視点で情報共有し、有識者の方々からの未来への指針に基づいて、食産業の科学と技術の目指すべき研究開発の目標を明らかにしたいと考えています。

日時

2020年9月28日 月
13:00-17:30 ※12:30入場開始

会場

オンライン (Zoomウェビナー)

事前受付制 ※定員1,000名
定員を越えますとご参加いただけない場合がございます。
ご了承ください。

参加費

無料

主催 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期フィジカル空間デジタルデータ処理基盤「CPS構築のためのセンサリッチ柔軟エンドエフェクタシステムの開発と実用化」
共催 立命館大学ロボティクス研究センター、立命館グローバル・イノベーション研究機構「先端材料に基づくロボティクス・イノベーション」拠点、立命館大学食総合研究センター

基調講演

食と人と文明と



出口 治明
立命館アジア太平洋大学 学長

参加お申込み

右記の申込フォームにてご登録後
招待メールをお送りいたします。

※アクセスできない方は、
事務局へお問い合わせください。

<http://bit.ly/sip200928>



※研究プロジェクト成果概要説明、SIP成果例報告をシンポジウム終了後(時期未定)に配布いたします。
右記のURLからダウンロードしていただけます。→ <http://www.ritsumeai.ac.jp/~kawamura/sip/>

※オンライン開催となりますので、安定したネットワーク環境下でご参加ください。 ※何らかの理由で通信が中断してしまった場合には、再度アクセスをお願い致します。

プログラム

はじめに

- 13:00 **開会挨拶** 佐相 秀幸(SIP第2期フィジカル空間デジタルデータ処理基盤プログラムディレクター)
- 13:05 **本研究プロジェクト成果概要説明**
川村 貞夫(SIP-SSESプロジェクト研究代表者/立命館大学 教授)
- 13:30 **遠隔/ビデオラボツアー**

基調講演

- 13:50 「**食と人と文明と**」 出口 治明(立命館アジア太平洋大学 学長)

キーノート講演

- 14:40 「**これからの病院・介護施設等における食事提供および在宅訪問栄養指導の課題**」
清水 瑠美子(福井栄養士会 名誉会長)
- 15:05 「**食ビジネスにおけるロボット/IoTの可能性**」
新村 猛(がんこフードサービス株式会社 取締役副社長/立命館大学 客員教授)
- 15:30 「**3Dプリンター食づくりの進展**」
古川 英光(山形大学 教授/株式会社ディライトマター 共同創業者、特別技術アドバイザー)
- 15:55 「**食の安心・安全の保証と保障を考える ー肥沃な土壌は良質な農産物を育むー**」
久保 幹(立命館大学 教授/一般社団法人SOFIX農業推進機構代表)

SIP成果例報告会

- 16:20 「**食品用ソフトグリッパ**」 平井 慎一(立命館大学 教授)
- 16:40 「**食品盛り付け作業自動化システム開発**」 王 忠奎(立命館大学 准教授)
- 17:00 「**IoT食洗業務自動化システム開発**」 西田 亮介(株式会社チトセロボティクス 社長)

さいごに

- 17:20 **講評** 小平 紀生(三菱電機株式会社 主席技監/SIP-SSES事業化推進委員会 委員長)
- 17:25 **今後のSIPプロジェクトについて**
川村 貞夫(SIP-SSESプロジェクト研究代表者/立命館大学 教授)

(注:CPS・・・Cyber-Physical System SSES・・・Sensor-rich Soft End-effector System)

※プログラムは予告なく変更される場合がございます。